信奉者カレンダー

令和６年
３月

金光教　山崎教会
TEL 0736-62-1106
FAX 0736-63-2043
HP　https://konko-ys.jp
フェイスブック
www.facebook.com/Konkokyo.Yamasaki
メール　mail@konko-ys.jp

祈りあって　共に生き　助けあって　いのち輝かそう

金光教の死生観

死は、誰にも恐れられ、嫌われます。それは、死が生を終息させるという不安、死後は何もなくなってしまうのではないかという不安が、つきまとうからです。

教祖様は、生きること、死ぬことについて、

「死ぬ用意をするな。生きる用意をせよ」

「この世に生きてはたらいている間に、日々安心して正しい道さえ踏んでいれば、死んだ後のことは心配をしなくてもよい」と教えてくださっています。

それは、生に目を向けさせることによって、死から目をそむけさせようとするものではありません。

「死ぬというのは、みな神のもとへ帰るのである。魂（みたま）は生き通しであるが、体は死ぬ。体は地から生じて、もとの地に帰るが、魂は天から授けられて、また天へ帰るのである。死ぬというのは、魂と体とが分かれることである」との教えがあります。姿、体はなくなっても、みたま様として存在し続け、人を助けるはたらきが生まれてくるのです。

このように、死後には、生前とは別の、みたま様としてのはたらきがあることに、死生の安心を見ています。

また、人の死も、生まれること、生きることと同じく、天地の間で起き、神様のお働きの中で起きることであり、「生きている間も死んだ後も天と地はわが住みかである」と教えてくださっています。死後、まったく別次元の世界に行くということではありません。

みたまを大切に　（霊祭りの意義）

教祖様は、「御霊（みたま）の祭りは大切にせよ」

「木のもとへ肥料をやれば、枝振りまで栄える。先祖や親を大切にすれば繁盛させてくださる」と、みたま様を大切にすることを教えられました。これは、親や先祖を「木のもと」に、子孫を「枝葉」にあらわしています。神様から頂いたいのちは、先祖から自分に、そして子孫にと受け継がれていきます。

先祖をまつる、先祖を大切にすることは、自分を大切にすることであり、子孫をも大切にすることでもあります。親や先祖のみたま様が助かることで、それにつながる自分もが助かることになるのです。

ご本部春のご大祭は、　**4月4日（木）**にお参りさせて頂きます。**参拝のご希望があれば、3月10日までに、お申し出ください。**（レンタカー予約の都合上）

４月４日　朝７時出発　１３：３０～　祭　典（夕食後）　20:30 頃帰着予定。　6,000 円

３月・弥生

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	1	2 月例祭（2:00）
3 河野家霊祭	4 親教会参拝	5 啓蟄 ご本部月参拝	6	7 民生役員会	8 教区委員会（センター）	9
10 月例祭（2:00）	11 連合会会議（午後）	12	13 地域ケア会議（午後）	14	15	16
17 こども食堂	18	19	20 春分の日	21	22	23 春季霊祭（2:00） ご大祭打合せ
24 山田家年祭 31	25	26	27 民生定例会（午後）	28	29	30

4月　月例祭　1日（月）　大祭　14日（日）　月例祭　20日（土）　すべて2時